



「学校安全教育指導者研修会」を開催しました

5月31日（水）、岩沼市民会館を会場に、生活安全（不審者対応や防犯を含む）に関する研修会を行いました。

研修会では、学校での不審者対応訓練の実践事例発表や県警察本部県民安全対策課から「不審者対応に当たっての警察との連携」について説明がありました。

また、仙台大学の田中智仁准教授から「学校における不審者対応及び学校と地域が連携した防犯対策や見守り活動」について講義をいただきました。

当日は、540名の先生方が参加し、子供の命を守るための平時からの不審者対応訓練の実施や警察署との連携、不審者対策用資器材の点検等の重要性について再確認しました。

本研修会の内容については、各校で確実に共有いただくとともに、児童生徒等の命を守る安全体制構築に向けて、不審者対応マニュアルや校内体制について、改めて確認をお願いします。



<田中准教授による講義>

不審者対応について再確認！

- 危機管理マニュアルの不審者対応（侵入防止策）を確認
- 不審者侵入時の対応方法等に関する教職員の対応能力の強化
- 不審者対策用資器材の点検
（ネットランチャー、催涙スプレーには使用期限あり）
- 警察署との速やかな連絡体制の構築
- ◎不審者侵入防止に向けて
 - 校門及び校舎入口の管理 ⇒ 昇降口、玄関の施錠の徹底
 - 来校者の管理 ⇒ 受付の設置、来校者名札の着用を求める。



<受講者からの感想（抜粋）>

- 不審者対応に関する具体的な取組について、改めて認識することができた。各校の実践事例を聞くことで、訓練の重要性を再確認することができた。
- 生徒と一緒に訓練をする前に、予め教職員のための訓練を実施することの必要性を感じ、勉強になった。マニュアルの読み合わせなど紙面上だけでなく、実際に動きながら互いの役割を確認しておくことが大切だと感じた。
- 不審者対応における警察署との連携について、再確認することができた。「迷ったらためらわずに110番」ということを、生徒・職員にも周知していきたい。
- 犯罪に強い三要素の考え方が大変分かりやすかった。校内研修で検討するだけでなく、安全マップを作成するなど、生徒が主体的に地域の安全について考える機会を作っていきたいと思った。
- 環境犯罪学と警戒線の視点から、学校を見直してみようと思った。有事の際に、第3警戒線を突破される前に事を防げるよう、「領域性」と「監視性」を高めていきたい。
- 勤務している学校に関して、改めて考えなければならないと感じることが多くあった研修でした。研修の内容を校内に伝達し、マニュアルや訓練計画を見直すとともに、学校の安全管理体制の強化につなげていきたい。



水害から身を守るカリキュラムを支援します

国土交通省では流域治水（雨水が川に集まる地域全体の水害対策）として、堤防整備などハード対策を加速化させています。
あわせて、ソフト対策として、被害軽減に繋がる防災教育を行う際のお手伝いを無償で行っております。



流域治水 HP

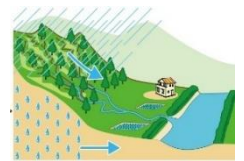
主なカリキュラム

※時間割、内容については様々なアレンジできます。



●水害のメカニズム

なぜ洪水が起きて、どんな危険があるのかを理解



国土地理院 HP



●水害への備え

ハザードマップ理解や避難マイタイムライン作成



重ねる
ハザードマップ



●防災情報の理解

災害警報や避難情報の意味理解と入手方法



キキクル
(危険度分布)



●水害避難時の対応

避難ポイントや、大切な人を守る「逃げなきゃコール」



逃げなきゃコール



防災教育の授業づくりの参考にさせていただけるよう、授業の流れや各種ポータルサイトを紹介した冊子もご紹介します。



防災教育ブックレット

講座のお申し込み、お問い合わせはこちらまで。

仙台河川国道事務所 流域治水課

TEL022-304-1827 メール thr-sendai01@mlit.go.jp

北上川下流河川事務所 流域治水課

TEL0225-94-9847 メール thr-742chosa01@mlit.go.jp



申込書(仙台)



申込書(北上川下流)